

一般グラフのデータ形式

Q 2 4 グラフのデータ形式が変わったという話を聞きましたが、詳細を教えてください。

A 2 4 4種類のデータ形式に対応できるようになりました。

現在のバージョンからグラフのデータ形式が拡張され、使い勝手が向上しました(ワークシートからメニューボタンの「一般グラフ」で選択できるようにもなりました)。具体的には、棒グラフ、帯グラフ、円グラフ、レーダーチャートの4種類のグラフが、以下の4タイプのデータ形式に対応できるようになりました。

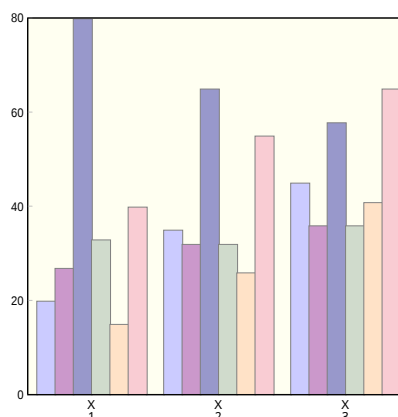
- (1) 変数別のグラフ(従来の形式)
- (2) 変数ごとの合計(列和)のグラフ
- (3) サンプル別のグラフ
- (4) カテゴリ度数別のグラフ

それぞれ、棒グラフを例にとって、具体的に見てみましょう。以下のデータを使用します。

サンプル [サンプル名]	特性値X 1 [量的変数]	特性値X 2 [量的変数]	特性値X 3 [量的変数]	属性X 4 [質的変数]
S 1	20	35	45	C3
S 2	27	32	36	C2
S 3	80	65	58	C2
S 4	33	32	36	C1
S 5	15	26	41	C2
S 6	40	55	65	C1

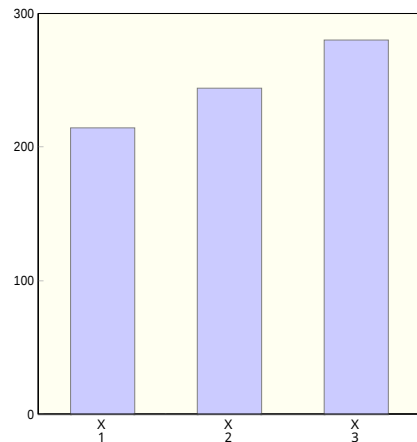
- (1) 変数別のグラフ(従来の形式)

変数ごとに、サンプルの数だけ棒グラフを描きます。
横軸は選択した変数の数だけ、変数名がつきます。



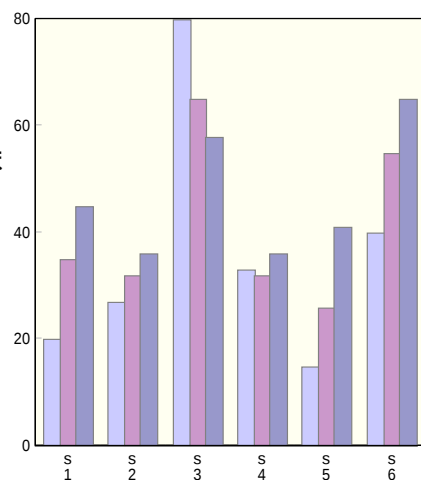
(2) 変数ごとの合計(列和)のグラフ

変数ごとに合計した値の棒グラフを描きます。
棒の数は変数の数に一致します。



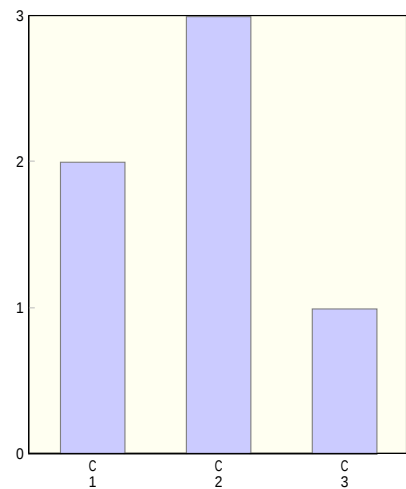
(3) サンプル別のグラフ

サンプルごとに、変数の数だけ棒グラフを描きます。
((1)と行列を入れ替えた形です)
横軸は選択したサンプルの数だけ、サンプル名がつきます。



(4) カテゴリ度数別のグラフ

質的変数内のカテゴリの数を集計して、グラフ化します。



帯グラフ、円グラフ、レーダーチャートなども同様に描くことができます。

掲載されている著作物の著作権については，制作した当事者に帰属します．

著作者の許可なく 営利・非営利・イントラネットを問わず，本著作物の複製・転用・販売等を禁止します．

所属および役職等は，公開当時のものです．

■公開資料ページ

弊社ウェブページで各種資料をご覧ください <http://www.i-juse.co.jp/statistics/jirei/>

■お問い合わせ先

(株)日科技研 数理事業部 パッケージサポート係 <http://www.i-juse.co.jp/statistics/support/contact.html>